

地域情報（県別）

【東京】無料送迎バス購入にクラウドファンディング実施「予想以上の結果に驚き」-松尾成吾・森山記念病院院長に聞く◆Vol.2

2023年6月30日（金）配信 m3.com地域版

「思ったより多くの反響があり、びっくりした」。救急医療と脳神経外科に注力する森山記念病院（江戸川区）は、駅とバス停から離れた立地を考慮して患者の無料送迎を行ってきた。2024年のクリニック開設でさらなる患者増が見込まれることもあり、新規ルートの開設と既存ルートの増便を図りたい一方、「こうした地域医療の課題も発信したい」。そこで利用したのが、インターネット上で資金を募る「クラウドファンディング」だった。松尾成吾院長に実施の経緯と手応えを聞いた。（2023年6月1日インタビュー、計2回連載の2回目）

▼第1回はこちら



松尾成吾氏

——森山記念病院は、患者の利便性向上を図ろうと無料送迎バスの新ルート開設と既存ルートの増便を行う予定だといえます。現在のアクセス状況は。

当院は公共交通機関の利便性が良くない場所にあります。南を走る東京メトロ東西線の「西葛西駅」から徒歩15分、北を通る都営新宿線「船堀駅」から同20分に位置し、近くのバス停からも歩いて5分ほどかかります。徒歩1分のバス停もありますが、こちらは本数が1時間に1本と少ない状況です。

2002年に開院した当院は建物の拡充のため2016年に現在地に移りました。救急医療の注力によって以前より遠くから搬送される患者さんが増えたほか、病床・診療科・診察室のいずれも増やしたため、来院する患者さんやご家族の数も増加。2022年における外来患者数の1日平均は456人に上ります。

アクセスの課題と増える患者数を背景に移転時から無料送迎を行っており、同院ならびに関連病院の森山脳神経センター病院と西葛西駅・船堀駅をつなぐ無料送迎バスを走らせています。

——予定している新ルート開設の内容とその背景は。

送迎バスを2台購入し、病院と東京メトロ東西線「葛西駅」・都営新宿線「一之江駅」をつなぐコースを開設します。途中の駐車場などを含めてどう運行させると良いかを調べるため、購入予定の2台のうち1台を5月半ばに借りて以降、試験的に運行させています。既存ルートについては現在、7～18時台まで1時間に2～4本ほどの間隔で運行していますが、需要と供給のバランスを見ながら増便します。いずれも9月ごろに始める予定であり、患者さんの利便性に配慮して、購入するバスのうち1台は電動で車椅子を乗せられる装置を設けます。

葛西駅と一之江駅は既存ルートで発着する西葛西駅・船堀駅の東に位置しており、こちらの方面から来院する患者さんも多いんですね。外来でのアンケート結果を見ても、「（公共）バスの便数が少ない」「だからタクシーで来ている」といった患者さんやご家族の声が散見されており、また職員も関連病院への移動や通勤に送迎バスを使うことがあるので、患者さん・職員双方の利便性を上げたい思いがあります。



同院が運行する送迎バス（病院提供）

——森山記念病院は送迎バス購入のため、クラウドファンディングを実施しています。

きっかけは、事務部門がクラウドファンディングのコンサルティングを行う企業から提案を受けたことでした。企業によると、病院では病院救急車の購入にクラウドファンディングを行うケースがあるといいますが、当院は既に2台の病院救急車を運用しているのでその面での必要性はありませんでした。そこで、「同じ車両でも無料送迎を充実させる方向ではどうだろう」と検討しました。

以前から新ルートの開設とバスの増便については患者さんやご家族から要望を受けており、当院としても「いつかやらねば」と考えていました。都に公営バスの病院への運行改善について陳情したこともありました。その後、クリニックの開設（詳細はVol.1を参照）に伴って診察室が増えることが決まり、さらに外来患者さんの増加が見込まれるなか、良いタイミングで企業からサービスを案内されたわけです。

——スタッフからそういった話を聞いたとき、松尾院長はどんな印象を受けましたか。

いいな、と思いました。ネットを介して私たちがどんなことを課題と思い、また地域や患者さんに向けてどんなことに取り組もうとしているかを伝えることができます。患者さんやご家族にとっても、地域の救急医療や回復期リハビリテーション医療について知り、「自分たちの病院」として考える機会になり得るでしょう。「できるといいね」とスタッフには伝えました。

——取材前日の5月31日現在、500万円の目標金額に対し、33人から約421万円が集まっています。

5月10日からサイト上で資金提供を募り、院内にも内容を掲示しています。スタッフから経過の数字を聞いたときは予想以上の結果に驚きました。現在の目標達成率は84%であり、このペースでいけば7月8日の募集終了までに目標を達成するかもしれません。

目標金額を500万円に設定したのは先述のバス1台分の購入と運用手続きにそのくらいかかるためであり、集まった資金はバス購入に充てます。サイト以外でも院内の募金箱にご支援いただいております、ありがたく思っています。

——医療機関は臨床や研究の分野でクラウドファンディングを行うことがありますが、こういった患者の利便性に絡めた内容も興味深いと思いました。最後に、今後の展望を。

救急搬送受け入れ要請の応需率を上げたいと考えています。2022年における実績は50%ほどであり、当院で応えられなかった患者さんの多くが区外の病院に搬送されている状況です。当院は「断らない救急医療」をテーマに掲げ、救急に注力してきたことから社会医療法人にも認定されています。「公益性の高い医療」を行う施設が認められる同法人の使命として、さらにこの分野を充実させたい。

目標とする受け入れ数は年間1万台です。近年の実績が5000～7000台なので、1万台ほど受け入れられればお断りするケースはとてま少なくなるでしょう。クリニック開設によって現在の外来スペースを救急搬送に活用できるようになれば、実現の可能性は高まると思います。

当院は開院して41年の歴史があるため、地域の人に「救急は森山に」「脳神経外科やリハビリは森山に」と思っただけいてるのであればうれしいです。一方で、当院には多くの診療科があり、また職員の働きがいや働きやすさも大切にしているので、これらを含めた魅力を引き続き発信していきたいですね。

◆松尾 成吾（まつお・せいご）氏

1980年信州大学医学部卒。同大脳神経外科や米国メイヨークリニック脳神経外科などを経て、2001年獨協医科大学脳神経外科講師。2003年に森山記念病院脳神経外科の部長に就任し、2016年から現職。

【取材・文・撮影＝医療ライター庄部勇太】

記事検索

ニュース・医療維新を検索

